

乗務員教育記録簿用紙

西北交通株式会社

乗務員への指導・監督の記録

実施月日 令和 6 年 9 月 24 日

時 間 10 時 30 分 ~ 11 時 30 分

場 所 北上本店 営業所

検
印

非公開

非公開

営業所名 北上本店営業所 矢巾営業所

【一般的な指導事項】

- ① 事業用自動車を運転する心構え
- ② 事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③ 事業用自動車の構造上の特性
- ④ 乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項
- ⑤ 旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥ 主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦ 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧ 運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ⑨ 交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩ 健康管理の重要性
- ⑪ 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑫ ヒヤリハット体験の報告や運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ⑬ ⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を共有する（警視庁及びYouTubeの記録画を使用した）
- ⑭ 非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

※ 乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項

1 「急」の付く運転 はしない

「急」の付く運転は、乗客に負荷がかかり、転倒を招きます。路線バスなど立っている乗客があるバスでは、車内転倒事故が多く起こっています。ゆとりある運転を心がけましょう。

2 カーブでの追越しはしない

カーブや追越しでの急ハンドルは、遠心力が強くなり、乗客の転倒を招きかねず、また、事故の危険性も高くなります。カーブでの追越はせず、ゆとりあるハンドル操作を心がけましょう。

3 安全な速度と十分な車間距離を保つ

法定速度を遵守することはもちろん、気象状況や道路状況に応じた速度での走行が必要で車間距離を十分にとり、安全走行を心がけましょう。

4 乗客の状況を確認する

路線バスでは、高齢者の車内転倒が多く発生しています。発車前には、乗客が着席又は手摺りにつかまっているかの状況確認をするとともに、走行時には立ち上がったリ、席を移動しないよう、呼びかけることが必要であることを理解しましょう。

5 シートベルト着用の徹底を図る

シートベルトが備えられているバスでは、乗客の安全のために、着用させることが必要です。高速道路では、乗客のシートベルト着用が義務付けられています。シートベルトを着用しなかった場合の事故の危険性を認識し、乗客のシートベルト着用を徹底させることの必要性を認識しましょう。

6 走行中の運転への集中

バスの走行中に乗客に話しかけられたり、すれ違う同社の運転者にあいさつ（挙手挨拶）さ

裏面へ

	<p>れるなど、運転に集中できない状況も生じます。乗客の安全を確保するためには、走行中は運転に集中しましょう。</p>
	<p>※ 7月の重点管理（運転者の健康管理を推進しよう） 【健康管理で事故防止】大切な 心と体の健康管理</p>
	<p>● 検診結果を活用した健康指導をすすめよう 運転中に体調が悪化して起こる健康起因事故が多発している。運転者の健診結果を確認し、必要に応じて受診を促す。</p>
指導	<p>● エアコンを上手に使うって安眠を確保 安全運転のために、十分な量と質の良い睡眠は欠かせない。寝苦しい夜にはエアコンを使うことを惜しまず、安眠を確保しましょう。</p>
	<p>● 定期的な運動を推奨する制度をつくろう 運動不足は、さまざまな病気を引き起こす原因となる。毎日一定の歩数をクリアした従業員を表彰するなど、運動を推奨する制度を設ける。</p>
教育の内容	<p>※「梅雨だる」七つの解消方法</p>
	<p>・朝起きたらカーテンを開けて光りを浴び、体内時計をリセット ・日中は意識して活動的に</p>
	<p>・雨や曇りでもカーテンを明け、部屋を明るくしましょう ・睡眠は充分にとる</p>
	<p>・きちんと朝食をとって活動モードに ・夜はぬるめのお湯にゆっくりつかり心身をリラックス ・ウォーキング、ジョギング、雨ならストレッチなどの軽めの運動を習慣に</p>